

第 9 回「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議

1 日 時 平成 29 年 3 月 29 日（水） 10：00～11：30

2 場 所 ホテル本能寺 5 階 醍醐ホール

3 出席者 別紙出席者名簿のとおり

4 議事次第及び内容

〔1〕開会

（佐伯政策監）

- 本市が推進している「歩いて楽しいまちなか戦略」については、関係者の皆様とともに、四条通の歩道拡幅事業をはじめとして、歩いて楽しいまちのモデルとなる事業を推進してきた。この事業については、国内での先駆的な取組として各学会から表彰を頂いた。この場を借りて、厚くお礼を申し上げる。
- 本会議では、第 8 回推進会議での中間報告を経て、これまで進めてきた各種取組の状況・効果を報告する。
- 「歩いて楽しいまちなか戦略」については、四条通の歩道拡幅事業で完了するものではない。50 年後 100 年後の京都の都心を見据えて、今後とも京都市として取り組んでいく。

（塚口会長）

- 「歩いて楽しいまちなか戦略」は約 10 年に渡って、皆様方から時に厳しく、また応援を頂いて、進めてきた。
- 3 つの学会から賞を頂いたことは、京都市の皆様、地元の皆様の努力の成果かと思っています。また、この推進会議の委員の皆様のお陰でもあります。
- 交通マネジメントに関する事業は、整備されたハードをいかに使っていくか。また、都心だけでなく、いかに他のエリアへ展開していくかが期待されます。本日提示の効果分析も踏まえて、これからの展開を図っていければと思っている。

〔2〕出席者自己紹介

〔3〕議事

（1）「歩いて楽しいまちなか戦略」これまでの取組状況について

〔事務局より、資料 3 の説明〕

（高島屋京都店 大井委員）

- 報告の通り、歩道拡幅により多くの方がスムーズに歩かれていると感じている。特にテラス型のバス停について、東西方向のスムーズな行き来ができています。
- もう少し外国人向けの表示も追加できたら、なお良いかと考える。
- 地上機器を活用する方法もあるのではないだろうか。

- タクシー乗り場が集約されて、場所が分かりづらい面があり、お客様から質問される機会がある。案内を充実することが望まれる。また、木屋町通での客引き行為などについては、適切な取締をお願いしたい。

(山口事業推進担当部長)

- タクシー乗り場については、デザインも含めて、看板等の案内を工夫したいと考えている。

(西道路建設部担当部長)

- 地上機器については、寺町通の西側は祇園祭までに移設をしたいと考えている。東側もそれに続く形で移設を行っていく。あわせて、安全性や美観についても考えていきたい。

(開智自治連合会 藪下委員)

- 四条通を工事する前は不安の声が多かったが、今は良い住民環境になったとの声が多い。

(豊園自治連合会 柴委員)

- 本日、この会議に来る前に、地下鉄四条通駅で車いすを押している方から、四条高倉バス停留所において、バスが乗り難くなったとの意見を聞いた。詳しい意図は確認できていないが、乗降客が多くなったこともあり、スロープを出して頂いて乗ることを気兼ねするようになったとの声を聞いた。

(永松自治連合会 井上委員)

- 河原町通の仏光寺通から河原町通に出にくくなったとの声を聞いている。

(京都市交通局 加藤委員)

- 四条通のバス停については、乗降自体は以前よりしやすくなったと思うが、乗降客の多さについては、混雑緩和に向けた対策を行っていきたい。

(豊園自治連合会 柴委員)

- 大阪の市バスはスロープが出しやすいとも言っていた。参考にして頂きたい。

(山口事業推進担当部長)

- 河原町通については、四条通の歩道拡幅に伴い、信号機が設置された。また、状況を確認し、必要となる対策を検討していきたい。

(永松自治連合会 井上委員)

- 高島屋の駐車場へ入る車両の列が連なることで、仏光寺通へ進入する車両がある。

(塚口会長)

- 地域全体のエリアマネジメントとして、取り組んでいく必要がある。

(永松自治連合会 井上委員)

- 是非よろしくをお願いしたい。

(立誠自治連合会 諸井委員)

- 自分でバスに乗って気が付くこととして、乗降客の多さもあるが、外国人の方は大きなトランクを持っておられることが多い。また、乗降にも時間を要している。市バスだけでなく、京都バスや京阪バスについても、系統の見直し等が行われたら、より良くなるかと考える。

(山口事業推進担当部長)

- 今の意見を報告し、検討を考えていきたい。

(立誠自治連合会 諸井委員)

- 全てが悪いものではない。バスの運行が改善された点も確認している。

(京都商店連盟中京東支部 宇治田委員)

- OPA 前のバス停について、多くの人が四条河原町交差点で錯綜している。特に休日の混雑が顕著である。横断歩道の幅を広げることやポケットパークを設置する等の対策ができないかと考えている。

(岡田副会長)

- 歩道拡幅については、各種調査結果からも皆様に喜んで頂けていると思われる。
- 10 年前はこれほどの訪日外国人観光客がいらっしゃるとは想定できていなかったが、歩道拡幅によって、問題の発生を予防できた面もあるかと考えている。また、東大路通についても、歩行者の混雑には大きな問題がある。荷物の預かり等の対策を検討する必要があるかと考えている。
- 四条通の道路交通渋滞は落ち着いてきているようだが、バスと鉄道のシームレス化について、今後取り組んでいくことが望まれる。交通量の多くの部分を占めている市バスについて、短い系統で接続性を高めていくことが望まれる。
- 資料 4 の p. 26 に高辻通での交通量増加が示されている。交通流動を分析することで、規制のあり方が見えてくるかと考える
- 賑わいづくりについて、資料 4 の p. 31 に示されているが、限定的なデータではあるが、決して落ち込みはないことが確認されている。これからは各店舗の努力かと考える。

(山口事業推進担当部長)

- バスだけでなく、鉄道とともにネットワークとして考えていく。ＩＣカードでの乗継といった方策も既に導入されている。
- 高辻通をはじめとする細街路についても、今後のモニタリングを行っていく必要があると考えている。

(警察本部交通部 姫野委員)

- 調査結果や現場からのご意見を踏まえ、京都市との連携で対応を図っていきたい。

(塚口会長)

- キャリーバッグを預けて頂けるのはありがたいが、預けたくないという国民性もあるようだ。湯布院ではどのような仕組みで取り組んでいるのか。

(岡田副会長)

- 湯布院は小さな町なので、駅前に 300 円で預ける仕組みを取られている。色々な国民性があるが、国際観光の取組は始まったばかりであるため、各地でルールを導入していくことが求められる。

(山田副会長)

- 四条通歩道拡幅事業は、まさに象徴的なシンボル事業である。それは歩いて楽しいまちにするという意味が示されたものであり、これからがスタートであると考えている。
- 交通面だけでなく、市民・観光・業務・商業といった様々な面を考える必要がある。これから予算と労力をいかに配分していくか。平均的な配分ではなく、きめ細かく考えていく必要があるだろう。人の問題により重点を置く方が良いのではないか。先ほどのキャリーバックもその一例になるだろう。宅配便の再配達の問題も同じである。ハードで対応するのか、人の意識や行動を変えて頂くアプローチを取るのか。

(佐伯政策監)

- これから地域でローカルルールを作って皆で、守って、使っていくことが重要と考える。
- 人の問題は大きな観点であると考え。人がどう考え、価値判断をしていくかを十分に考える必要がある。モビリティマネジメントの取組に該当すると思われる。この会議等を通じて、皆様と意見交換し、考えていくことが重要だと考える。

(日彰自治連合会 山口委員)

- 交通弱者の安全確保に気を付けている。細街路は歩きやすくなったと感じている。しかし、駐輪・駐車防止のために障害物を路上に置かれている店舗・事業所もある。この問題についても改善を図っていく必要がある。三条通だけでなく、都心全体を 20km/h 規制にしていだくか、それに近い状況となる対策をご検討頂きたい。

(警察本部交通部 姫野委員)

- 速度規制については、全国的にゾーン 30 という取組が行われている。都心ではそれ以上の状況を確認すべく取り組んでいる。

(駐車場問題対策協議会 津田委員)

- 前回の推進会議で経済的な効果検証をお願いしたところ、ご対応頂き、お礼申し上げます。
- 来訪者が増えることでコストが増加する面もあり、市全体としての財源のあり方を考える必要があるかと思われる。仮に、市民負担が増加するような状況になることは望ましくないだろう。

(山口事業推進担当部長)

- 現時点で我々は賑わいの土台作りができたと考えている。今後の進め方については、ご指摘の点も踏まえて、検討する必要があるかと考えている。

(塚口会長)

- 少し時間を掛けて、見守って頂けたらと考える。

(生祥自治連合会 中村委員)

- 工事前の不安は解消され、歩きやすくなったとの声が多い。
- 四条通の地下通路を利用する市民もいる。京極通から西に向かう方向の壁面は殺風景で、雨漏りもある。目で見て楽しめるような空間になればと考えている。

(高畑室長)

- 四条通の地下通路は阪急電鉄の所有である。指摘の通り、京都市でも関係部局で活用方策を検討している。改めて、協議会のような形で進めていけたらと考えている。

(塚口会長)

- 四条通の歩道拡幅事業はハード面では完了したが、委員の皆様から様々な意見を頂いた。エリアマネジメント会議等の場を通じて、検討・対応をお願いしたい。

(塚口会長)

- 約 10 年間、議論を重ねてきた。市の担当者や委員の方も交代されたりしたが、主たる事業が完了し、一定の効果が発現していることを確認できたため、本日の会議が一つの区切りを迎えたかと考えている。この 10 年間を通して、佐伯政策監をはじめとする京都市の皆様にご感謝申し上げます。

〔４〕閉会挨拶

（高畑室長）

- 引き続き，全国にこの成果を拡げていきたいと考えている。人にどのように働きかけていくかという点について，ご示唆を頂いた。引き続き，関係者の皆様とともに，取り組んでいきたい。

以上

第9回「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議 出席者名簿

分野	所属・役職	委員氏名	出欠	備考
学識経験者	立命館大学理工学部特任教授（会長）	塚口 博司	出席	
	京都大学大学院経済学研究科教授（副会長）	岡田 知弘	出席	
	京都大学経営管理大学院准教授（副会長）	山田 忠史	出席	
商業関係者	京都商店連盟会長 京都錦市場商店街振興組合理事長	宇津 克美	出席	
	京都商店連盟中京東支部支部長 河原町商店街振興組合理事長	宇治田 脩孟	出席	
	四条繁栄会商店街振興組合理事長	野村 清孝	出席	
	株式会社高島屋京都店総務部総務担当	大井 義雄	出席	
	株式会社大丸松坂屋百貨店大丸京都店業務推進部総務・保安担当マネージャー	松崎 幹弥	出席	
	株式会社藤井大丸人事総務部部長	内藤 篤	出席	
	株式会社丸井京都マルイ店次長	上村 晴人	欠席	
自治連合会	日彰自治連合会会長	山口 正夫	出席	
	生祥自治連合会会長	中村 勝	出席	
	立誠自治連合会会長	諸井 誠一	出席	
	豊園自治連合会会長	柴 佳伸	出席	
	開智自治連合会会長	藪下 清二	出席	
	永松自治連合会会長	井上 清次	出席	
関係団体	「歩いて楽しいまちなか戦略」における駐車場問題対策協議会会長	津田 和雄	出席	
	京都府旅館ホテル生活衛生同業組合理事長	北原 茂樹	欠席	
交通事業者	京都タクシー業務センター代表幹事	兼元 秀和	欠席	代理出席： 事務局長 近藤 智彦
	一般社団法人京都府トラック協会専務理事	浅井 孝司	出席	
	京都市交通局自動車部長	加藤 譲	出席	
国土交通省	近畿地方整備局建政部都市整備課長	松村 知樹	欠席	代理出席：都市整備課 街路係長 高田 和志
	近畿運輸局交通政策部交通企画課長	安江 亮	欠席	代理出席：交通企画課 課長補佐 原田 晋司
	近畿運輸局京都運輸支局首席運輸企画専門官	藤原 幸嗣	出席	
京都府警察	警察本部交通部交通規制課長	姫野 敦秀	出席	
	中京警察署長	片山 勉	欠席	代理出席：交通課 交通総務係長 吉 貴弘
	下京警察署長	坂根 剛	出席	
京都市	交通政策監	佐伯 康介	出席	
	都市計画局歩くまち京都推進室室長	高畑 重勝	出席	
	都市計画局歩くまち京都推進室事業推進担当部長	山口 雅直	出席	
	都市計画局歩くまち京都推進室土木技術担当部長	西山 正志	出席	
	行財政局サービス事業推進室長	黒川 勝司	欠席	
	産業観光局商工部長	安河内 博	出席	
	建設局建設企画部技術総括担当部長	市橋 英人	出席	
	建設局土木管理部長	大西 功	出席	
	建設局自転車政策推進室長	志渡澤 祥宏	出席	
	建設局道路建設部長	高松 幸男	出席	
	建設局道路建設部担当部長	西 靖彦	出席	
	中京区役所地域力推進室まちづくり推進課長	山内 昌代	出席	
	下京区役所地域力推進室まちづくり推進課長	坂根 正樹	欠席	